

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

009	1001	事務事業名	健康増進健康教室等事業	細事務事業名		公的関与	4						
PLAN	課名	健康推進課	係名	健康栄養係	電話番号	089-966-2191	メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	16年度～年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1生涯健康づくりの推進		主要施策	(4)成人・老人保健の充実				
	事業の対象	東温市内在住の成人、高齢者				根拠法令	健康増進法及び高確法（平成19年度までは老人保健法）						
	事業の目的	最終的	健康に関する市民の意識について、健康教室等を通じ、自己管理意識の向上や生活習慣の改善を図ります。			今年度	市主催の健康教室等を実施しながら、地域での要望に応じた健康教室を適宜行い、健康意識を高める機会を作ります。						
	活動内容	地域の要望に応じ、随時要請のあった場合に出前講座を行います。				健康診査の結果に基づいた健康相談や、常時窓口や電話で相談を行います。							
		糖尿病予防教室を実施し、糖尿病予備群の方に生活習慣の見直しを促し、健康を保てるよう支援します。				生活習慣病の予防や、がん検診の精密検査の受診率の向上等について訪問指導を行います。							
		運動指導事業(ソフトエアロビ教室、ウォーキング教室)を実施し、運動習慣を身につけ、継続できるよう支援します。											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標			
		健康教室参加者数		各健康教室参加延人数		人	目標 4,000	4,000	4,000	4,500			
自分が健康だと思う人の割合		アンケート調査		%	目標 50	50	73	75					
1年以内に健康診査を受けたことがある人の割合		アンケート調査		%	目標 65	65	78	80					
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生			費				
	直接事業費		平成20年度決算	平成21年度決算	平成22年度予算	備考							
		国・県支出金	751千円	717千円	721千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	4,046千円	4,010千円	5,493千円								
		一般財源	5,846千円	4,724千円	6,011千円								
	計(A)	10,643千円	9,451千円	12,225千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	1.256人	9,337千円	2.000人	15,108千円	2.000人	15,076千円						
	臨時職員工数・経費	1.349人	2,308千円	3.000人	5,133千円	3.000人	5,106千円						
全体事業費(A+B)		22,288千円		29,692千円		32,407千円							
一次評価者	健康栄養係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	市民が健康について学ぶ機会や相談する機会を設けることは必要です。また、制度改正に伴い、医療費削減や介護予防のための保健指導の充実はより一層求められています。												
有効性	健康管理は積み重ねが重要であり、短期間で成果を見ていくことはできません。そのため長期のスパンで成果を見ていくとともに、随時市民からの要望に耳を傾け、実施方法を検討しています。												
達成度	制度改正により健診方法が変わったこともあり、利用者が減少していますが、参加した市民からの反応はよく、アンケート調査から見た目標は着実に上昇傾向にあり、概ね達成していると思われます。												
効率性	愛媛大学や保健所、医師会等の関係機関と連携して実施しています。今後は関係各課ともより効果的な実施について協議していきます。												
当面の課題	制度改正により、健康相談の対象が高齢者部門と国保部門及び衛生部門に分かれました。そのため、より効率的に実施するためには関係部署及び関係機関とのより一層の連携が求められています。												
改革計画	関係課との連絡調整会を定期的実施し、関係者が連携して市民へのサービスを提供できる体制を作ります。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	健康管理は、継続することが最も重要であり、広く市民への啓発し、それぞれの個人で管理する必要があります。そのため、医師会・歯科医師会及び愛媛大学医学部との地域連携を深め、市民に対して機会あることにより広く周知することが重要です。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

009	1002	事務事業名	地区組織活動支援事業	細事務事業名		公的関与	4						
PLAN	課名	健康推進課	係名	健康栄養係	電話番号	089-966-2191	メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間 15年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	(2) 健康管理意識の高揚と自主的活動の促進				
	事業の対象	健康づくりに積極的に取り組む自主組織「とうおん健康づくりの会」「上林健康会議」、食生活を中心とした健康づくりを推進する「食生活改善推進協議会」会員及び地域住民				根拠法令							
	事業の目的	最終的	市民一人ひとりが健康でいきいきとした豊かな人生を実現するために、健康づくりの主役は私達市民一人ひとりであることを認識し、市民全体の健康の保持増進を図ります。			今年度	健康の保持増進に関する正しい知識の普及を行い、また、積極的に地域で健康づくりに取り組む活動を支援します。						
	活動内容	市の健康増進事業(健康教室や健康相談等)を実施して健康づくりについての正しい知識の普及や情報提供を行います。				愛媛大学医学部及び保健所等の関係機関との連携を図り、健康づくりに関する指導、助言、協力を得て自主活動を推進します。							
		自己の健康づくりと地域の健康づくりに関するボランティア活動を支援するための研修会を行います。											
		健康づくりに関する自主活動を円滑にすすめていくために助言、協力等の支援を行います。											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標			
		とうおん健康づくりの会 会員数		会員数		人	目標 350	350	350	450			
					実績 322	337							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生			費				
	直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	85千円	121千円	678千円								
	計(A)	85千円	121千円	678千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.282人	2,096千円	0.282人	2,130千円	0.790人	5,955千円					
		臨時職員工数・経費	0.008人	14千円	0.008人	14千円	0.129人	220千円					
	全体事業費(A+B)		2,195千円		2,265千円		6,853千円						
一次評価者	健康栄養係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	市民全体の健康の保持増進をすすめていくためには、積極的に健康づくりを推進する自主組織を支援し、また、連携を図る必要があります。												
有効性	健康づくりの自主活動や市の実施する健康診査事業でのボランティア活動等を積極的に行っており、健康づくりに大きな効果を実現しています。												
達成度	年々会員数が増加しており、また、活動内容の充実がみられます。今後もさらに健康づくり活動をすすめていくために支援を行います。												
効率性	市民一人ひとりが健康でいきいきとした人生を実現するためには、健康づくり活動を広げていく必要があります。そのためには健康づくりの自主組織と連携することは効率性が高いといえます。												
当面の課題	自主活動に参加した方の評価は良好であり、市の実施するボランティア活動の協力も積極的であるため、今後も活発な健康づくり活動が継続して行えるよう支援する必要があります。												
改革計画	今後さらに会員数や参加者数が増加するよう、関係機関とも連携して地域の特性に応じた活動の支援を行います。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	市民自らが健康づくりに関心を持ち、取組んでいくことが重要で、「とうおん健康づくりの会」等の自主組織との連携が必要です。また、自主組織自体が会員の増加を図ることが重要であり、市広報誌等で広く市民に周知して下さい。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

009	1003	事務事業名	各種健康診査事業		細事務事業名				公的関与	1				
PLAN	課名	健康推進課	係名	健康栄養係	電話番号	089-966-2191	メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp						
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	16年度 ~ 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	(4)成人・老人保健の充実					
	事業の対象	20歳以上の東温市民				根拠法令	健康増進法、高齢者の医療の確保に関する法律							
	事業の目的	最終的	疾病を早期に発見し、早期治療につなげること、健康診査の結果を踏まえた栄養指導その他の保健指導を行うことにより、疾病の発症及び重症化の予防並びに生涯にわたる健康増進にむけた自主的な努力を促進するために実施します。			今年度	各種健康診査の普及啓発を推進し、前年度より受診者数の増加を目指します。							
	活動内容	がん集団検診事業(肺・胃・大腸・子宮頸・乳がん検診)、女性特有のがん検診推進事業(子宮頸・乳がん検診)、個別検診事業(骨粗しょう症検診・歯周疾患検診)				若い頃からの生活習慣病予防のための30歳代健康診査事業								
		集団健康診査事業(肝炎ウイルス検査・生活保護受給者)				市の単独事業(胸部CT検診、前立腺がん検診、心電図・眼底・貧血の追加検査)								
		高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、広域連合からの委託による後期高齢者健康診査事業												
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標				
		健康診査受診者数(特定健診・30歳代・生保・後期高齢・被扶養)		受診者数		人	目標 3,500	3,500	3,500	5,000				
がん検診受診率		受診者数/対象者数		%	目標 50	50	50	50						
精密検査受診率		精密検査受診者数/要精密検査者		%	目標 90	90	100	100						
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生			費					
	直接事業費	平成 20 年度決算		平成 21 年度決算		平成 22 年度予算		備考						
		国・県支出金	538 千円		5,509 千円		3,365 千円							
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
		その他特定財源	16,077 千円		16,674 千円		18,340 千円							
		一般財源	45,952 千円		35,075 千円		38,038 千円							
	計(A)	62,567 千円		57,258 千円		59,743 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	1.579 人	11,738 千円	1.579 人	11,928 千円	1.579 人	11,903 千円							
	臨時職員工数・経費	0.525 人	898 千円	0.525 人	898 千円	0.525 人	894 千円							
全体事業費(A+B)		75,204 千円		70,084 千円		72,539 千円								
CHECK・ACTION	一次評価者	健康栄養係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
	必要性	生活習慣病の予防、疾病の早期発見は、医療費の削減にもつながります。健康づくりの第一歩として、より多くの方が健診を受診されるよう普及啓発活動にも工夫が必要です。												
	有効性	健康づくりは短期間で成果が表れるものではありません。住民のニーズに対応した有効な方法を検討して支援していきます。												
	達成度	平成20年度の制度改革に伴い、健診対象者の減少とともに各種健診受診者数も伸び悩んでいます。他市町と比較すれば、県内では高い受診率ではありますが、更なる啓発普及を推進する必要があります。												
	効率性	関係各課や委託している検査機関等関係機関と連携しながら、効率的な方法について協議を行い実施します。												
	当面の課題	平成20年度の新しい制度改革に伴い、健診実施主体が他課や職域に拡大し、各種健康診査の受診方法が複雑化しました。理解しにくい健診事業について周知や理解をはかり、また、効率的な受診方法で対応できるよう関係機関との連携が必要です。												
	改革計画	関係機関と連携を図り、受診しやすい環境を検討します。また、普及啓発を推進し、受診者の増加を目指します。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項	住民の高齢化とともに、健診会場への交通の便等を考慮する必要も出てくると考えられ、より受診しやすい環境整備を図る必要があります。また、平成21年度から「女性特有のがん検診」も実施され始め、国で定めるがん検診受診率50%に近づけるよう努力が必要です。受診をされていない市民を健診の重要性を認識してもらうのが重要です。													

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

009	1007	事務事業名	精神保健福祉事業	細事務事業名		公的関与	1						
P L A N	課名	健康推進課	係名	健康栄養係	電話番号	089-966-6322	メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	2年度～年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1生涯健康づくりの推進		主要施策	(6)精神保健の充実				
	事業の対象	精神障害を持つ当事者、家族、精神保健ボランティア、地域住民				根拠法令	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律						
	事業の目的	最終的	健康増進計画に基づき、精神障害者の社会活動への参加を推進し、地域住民の方のこころの健康づくり及び精神保健福祉に関する正しい知識の普及、理解の向上をはかります。				今年度	各事業の内容及び周知の充実をはかることにより、参加者数の増加を目指します。					
	活動内容	精神障害を持つ当事者やこころに不安や悩みを抱える人の健康づくりのために、相談・訪問を行います。				地域家族会、精神保健ボランティアグループの活動を支援することにより、会員のこころの健康づくりを推進するとともに精神障害者の社会活動への参加促進及び地域住民の方のこころの健康づくりに関する正しい知識の普及を図ります。							
		精神障害を持つ当事者の方を対象に、交流・意見交換等を通して疾患や生活を支える福祉制度について理解を深め、仲間づくりや社会活動への参加を支援するため、デイケアを行います。				関係機関と連携を深め、地域自立支援協議会の機能充実をはかります。個別支援会議や相談支援実務者の定例会等において個々の課題から支援体制について検討していきます。							
		一人ひとりがこころの健康問題の重要性を認識し、自分や身近な人の心の不調に気付き、対処できるよう、こころの健康講座を開催します。											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標			
		こころの健康について身近に相談できる人や機関のある人の割合		アンケートによる(22年度健診申し込み時に実施)		%	目標				100		
地域生活に移行した精神障害者の人数		受け入れ条件が整えば退院可能な精神障害者数のうち実際に退院した人数		人	目標	3	5	5	17				
自殺者数		愛媛県保健統計年報による東温市の自殺者数		人	目標				減少				
D O C U M E N T	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生			費				
	直接事業費		平成20年度決算	平成21年度決算	平成22年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	9千円	7千円	10千円								
		一般財源	378千円	427千円	445千円								
	計(A)	387千円	434千円	455千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.715人	5,315千円	0.715人	5,401千円	0.715人	5,390千円					
		臨時職員工数・経費	0.012人	21千円	0.012人	21千円	0.012人	20千円					
	全体事業費(A+B)		5,723千円	5,856千円	5,865千円								
一次評価者	健康栄養係	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	現代社会はストレス過多の社会であり、従来の家族、地域の絆が弱まりつつあり、誰もがこころの健康を損なう可能性があります。また、全国での自殺者数は年間3万人を超えており、早急な対策が必要になっています。潜在層への働きかけは、行政の保健部門しかできないことなので、今後も継続する必要があります。												
有効性	課題の性質上、長期的展望を持って事業の内容・方法等を検討していく必要があります。												
達成度	課題の性質上、単年での指標の改善は難しい状況です。長期的に見ると、家族会が結成に至るなど成果が見られます。												
効率性	事業参加者の固定化が見られるため、効率性の面でも周知方法等、改善が必要です。庁内関係部署及び関係機関と連携を密にし、より効果的な方法について協議していきます。												
当面の課題	社会情勢により、こころの健康づくりの重要性は増してきており、解決していくべき課題も複雑多岐にわたるため、関係部署及び関係機関と連携を密にし、より効果的な事業展開について一緒に検討していく必要があります。												
改訂計画	個別の支援を通しての連携体制は充実してきており、地域自立支援協議会についても連絡・学習の場から、具体的な課題抽出や体制整備に向けての協議の場に移行しつつあります。今後はさらに機能充実を図り、適切なニーズ把握と体制整備につながる協議を行っていきたくと考えています。												
二次評価者	総務課長	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	精神保健分野は、課題が多岐にわたっており、保健師のスキルアップを図ることが必要です。また、関係機関との連携におきましても、今まで以上に図っていくことが重要です。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

009	1012	事務事業名	救急医療対策事業	細事務事業名	東温市在宅当番医制事業	公的関与	1						
PLAN	課名	健康推進課	係名	健康栄養係	電話番号	089-966-2191	メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	全部委託	実施計画	非該当	事業期間	16年度～年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	(8)地域医療体制の充実				
	事業の対象	市民				根拠法令	救急医療対策事業実施要綱(S.52.7.6日付医発第692号厚生省医務局長通知)						
	事業の目的	最終的	市民が安心してらせるための、安定した初期救急体制の確保			今年度							
	活動内容	東温市医師会に委託して、東温地区の医療機関が、休日祝日の日中(9:00～17:00)輪番で診療をします。											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標			
		日祝日の日数に対する事業開設数		事業開設数 / 日曜・祝日の日数		%	目標	100	100	100	100		
							実績	100	100				
							目標						
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生			費			
	直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	1,673千円	1,673千円	1,673千円								
	計(A)	1,673千円	1,673千円	1,673千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
臨時職員工数・経費		0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)		1,673千円		1,673千円		1,673千円							
一次評価者	健康栄養係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	日曜祝日の急病に対して、市内で受診できることは、市民の安心の確保のためにも必要な事業です。												
有効性	初期救急(軽症者)が市内で受けられることができると、2次救急への軽症者の受診を抑制でき、救急体制の維持に繋がります。												
達成度	年間を通じて、日曜、祝日の日中の初期救急体制は100%達成できています。												
効率性	市が直営で実施すると、医師、看護師のマンパワーの確保と、医療設備を整備した施設が必要となり、委託実施するほうが、はるかにコストは安価です。												
当面の課題	輪番で実施しているため、専門外の診療を行うこともあり、二次救急医療機関とのより緊密な連携が必要です。												
改訂計画	医師会員数等の課題もありますが、輪番の内容・方法について、医師会と連携を図りながら進めていきます。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	昨今、救急医療体制の崩壊が言われているが、一次救急である市内の医療機関での初期救急体制を図ることが非常に重要な位置を占めます。今後、市内医師会とより連携が図れるよう協議することが重要です。												